

ホッとと愛



このコーナーは、市内で福祉活動をされている方や団体にスポットを当てたインタビューコーナーです。

11月22日(土)に開催予定の「ボランティアまつり」について、茅ヶ崎ボランティア連絡会の役員の方にお話を伺いました！

Q: ボランティアまつり 福祉バザーの歴史についてお聞かせいただけますか？



A: ボランティアまつりには、実は長い歴史があるんですよ。ボランティア連絡会で開催していた福祉バザーを、平成10年度から市社協と共催で開催するようになりました。以前は1月に開催されていて、「1月祭」という名前でした。雪が降る寒い日もありましたね。その頃は、お歳暮でいただいて余ったものなどをバザーに出していました。平成14年度から「ボランティアまつり」福祉バザー」と名称を変えて、秋に開催するようになりました。

Q: ボランティアまつりの目的を教えてくださいいただけますか？
A: 福祉関係のボランティアグループの活動を知ってもらうことです。

ただ、多くの方は買い物をする目的に来場されることが多いので、どうしても知っているだけか、いろいろのみんなを考えています。

Q: 具体的にどのような品物がバザーで提供されているのでしょうか？また、バザー以外にはどのような催しがありますか？

A: バザーには、魅力的な商品がたくさんあります。手作りの布おもちやや素敵な雑貨、日用品など、「掘り出し物」が沢山見つかると思います。また、バザー以外のアトラクションもいろいろあります。大人も子ども楽しめると思います。
・「湘南マジシャンズクラブ」によるマジックショー。いつも部屋がいっぱいになるほどの人気です。
・「茅ヶ崎紙芝居研究会さわやか」による紙芝居。
・「手話ダンスフライングハンズ」の手話ダンス。
・「茅ヶ崎市視覚障害者福祉協会」の皆さんによるマッサージ。
・福祉事業所から、素敵な手作りの作品が販売されます。
・車椅子体験、点字体験もあります。
また、ボランティア活動を紹介する



手話ダンス フライングハンズさんの手話ダンス

るパネル展示も行っています。茅ヶ崎ボランティア連絡会では、12のグループがとも活発に活動をしているので、その様子を知ることができます。

Q: ボランティアまつりの収益は、どのように使われているのでしょうか？

A: バザーの売上は、ボランティアグループの活動にとても重要です。多くのグループは市協などからの助成金や会費で運営していますが、バザーの売上が貴重な収入源となっています。具体的には、活動に必要な実費や研修のための講師費用、機材の修理費が必要なグループなどもあります。バザーの売上が活動費全体の20%以上を占めているグループが多いのではないかと思います。バザーで商品を購入していただくことが、ボランティアグループの活動を支援することにつながります。



バザーはいつも大盛況です

Q: ボランティア活動やボランティア連絡会に参加することで感じていることがありますか？

A: ボランティア活動やボランティア連絡会に参加することで、他のボランティア団体の方々と知り合い、情報交換ができるのはとても貴重です。普段なかなか接点のない人たちとの出会いがあります。親しくなったりして、人脈も広がります。

私自身、視覚障がい者のボランティアをする前は、障がい者の方を見かけても、話しかけることすらできませんでした。でも今は、活動を通じて、すぐに声をかけたり誘導したりできるようになりました。

知的障がいのある方や身体能力の低下した方々と接することで、自分自身にあった、人を区別、差別するような部分が、少しだけきれいな見方、きれいな目になったような気がしています。

さまざまなボランティアの経験を通じて、「何でもやってみるものだな」と感じるようになって、自分のためになっていると強く思います。

ボランティアは「一人のため」にやっている部分が大きい、と皆で話しています。

役員の方々は、今年の内容だけでなく、これからどうしたらよりよいお祭りになるか、熱心に話し合っていました。「止める人がいないですよ。やるうやるうってギリギリまで考えて、みんなで考えて企画しています。」と楽しそうに話してくださいました。

11月22日(土) 10時~13時
茅ヶ崎市民文化会館1階にて、多くの皆さまのご来場をお待ちしております！

茅ヶ崎ボランティア連絡会についてのアンケートにご協力ください！
11月30日(日)締切

広報紙「社協ちがさき」へのご感想や、ご意見・ご要望(「ホッとと心愛」でこんな活動をピックアップしてほしい!)等)をお寄せください。
eboshi@shakyo-chigasaki.or.jp

精神保健ボランティアのことがよくわかる！ 当事者、ボランティアからの体験談講座

とき 令和7年12月18日(木) 14時~16時
ところ 市社協 B会議室
(茅ヶ崎市新栄町13-44 さがみ農協ビル2階)

対象 精神保健ボランティアに興味をお持ちの方
定員 30名(先着順)
お申込方法 下記二次元コードを読み込んで必要事項を入力してください。①氏名 ②電話番号 ③メールアドレス ④お住まい(茅ヶ崎市内外) ⑤所属 ⑥講座を知ったきっかけ ⑦受講動機
(11月4日(火)受付開始)



お問合せ先 市社協(障害者生活支援センター)
(受付時間 8時30分~17時15分土日祝休み)
電話 0467(85)55200
FAX 0467(85)96051
メール shougai-center@shakyo-chigasaki.or.jp
協力 茅ヶ崎市精神保健ボランティア推進委員会

内容 当事者の方からのお話
・精神保健ボランティアさんの活動体験談
・ピアサポーター(当事者の方)からの体験談、精神保健ボランティア活動をされている方からの体験談をお聞かせします。また、市内の精神保健関連施設の簡単な紹介や、ボランティア情報のご案内もあります。

受講料 無料
「ご興味をお持ちの方のご参加をお待ちしております！」

